



### 検討の経過と今後の予定

平成 17 年月 6 日 21 日 第 1 回池尻大橋駅周辺地区交通バリアフリー推進懇談会（点検まち歩き）

地元の皆さんと、池尻大橋周辺地区でまち歩きを行った後、点検マップを作成しました。



平成 17 年 11 月 8 日 第 2 回池尻大橋駅周辺地区交通バリアフリー推進懇談会（計画素材検討）

第 1 回での課題の抽出、改善に向けた提案を受けてまとめた「計画素材」について、意見交換を行いました。



平成 18 年 3 月 24 日 第 3 回池尻大橋駅周辺地区交通バリアフリー推進懇談会（協議経過報告）

第 2 回懇談会後の事業者（道路管理者、鉄道事業者等）との協議経過を報告し、意見交換を行いました。



平成 18 年 12 月 11 日 第 4 回池尻大橋駅周辺地区交通バリアフリー推進懇談会（計画案報告）

今後の予定

- ・交通バリアフリー推進基本構想協議会（事業者協議・調整の場）開催
- ・「池尻大橋周辺地区 交通バリアフリー整備計画」決定
- ・事業項目ごとに、事業着手

### 【交通バリアフリーに関するお問合せ】 目黒区都市整備部都市計画課

住所：〒153-8573 東京都目黒区上目黒2-19-15 電話：03-5722-9725 FAX：03-5722-9338

※目黒区ホームページでも情報を公開しております。ホームページアドレス <http://www.city.meguro.tokyo.jp/tosikei/>

■ 発行：目黒区

■ 編集：目黒区都市整備部都市計画課

■ 発行日：平成 18 年 1 月

目黒区交通バリアフリー推進基本構想 福祉のまちづくり推進地区 地区別構想 池尻大橋駅周辺地区 概要版

## 「池尻大橋駅周辺地区 交通バリアフリー整備計画案」



目黒区では、高齢者や障害をもつ人など全ての人にやさしいまちづくりのために、平成 16 年 3 月に『目黒区交通バリアフリー推進基本構想』を策定しました。

平成 17 年度から、池尻大橋駅周辺地区で具体的な計画を策定するため、地元のみなさんとの点検まち歩きや意見交換、事業者等との協議を重ねてきました。このたび「池尻大橋駅周辺地区 交通バリアフリー整備計画案」がまとめました。

平成 18 年度末の決定を経て、この計画に基づいた池尻大橋駅周辺地区的バリアフリー化を進めていきます。

### 「目黒区交通バリアフリー推進基本構想」の概要

「目黒区交通バリアフリー推進基本構想」は、高齢者や障害をもつ人をはじめ、だれもが安全で快適に生活できる社会を目指すため、駅と主要な公共施設や商業施設を結ぶ歩行空間のバリアフリーネットワーク化を推進するため、平成 16 年 3 月に策定した目黒区の基本構想です。

### 基本的な考え方

基本方針 1 13 駅すべての周辺地区を対象にバリアフリー化を推進します。

基本方針 2 交通バリアフリー法と東京都福祉のまちづくり条例にそって、バリアフリー化を推進します。

基本方針 3 区民、事業者、目黒区の連携により、効果的に効率的なバリアフリー化に取り組みます。

### 事業推進に向けた地区区分

#### 交通バリアフリー推進地区

交通バリアフリー推進地区が満たすべき要件を考慮し、中目黒駅、都立大学駅、自由が丘駅の 3 駅周辺を交通バリアフリー推進地区とします。

#### 福祉のまちづくり推進地区

「交通バリアフリー推進地区」以外の駅周辺地区を「福祉のまちづくり推進地区」に位置づけ、東京都福祉のまちづくり条例にそって、バリアフリーネットワーク化を進めます。

福祉のまちづくり推進地区を設定する駅周辺地区は、駒場東大前駅、池尻大橋駅、祐天寺駅、学芸大学駅、目黒駅、武蔵小山駅、西小山駅、洗足駅、大岡山駅、緑が丘駅の 10 駅とします。

### 福祉の推進地区の基本構成要素

主要施設	徒歩による利用が多い官公庁施設、福祉施設、商業施設、その他の施設
主要経路	回遊性を形成する経路で、徒歩で主要施設に至る経路、または区民の暮らしを支える商店街などの経路
推進地区	中心となる駅、「主要施設」、「主要経路」とその沿道を取り囲む範囲とします。
主要事業	主要事業は、バリアフリーネットワーク化を実現するための事業です。

### 地区別構想

#### 福祉のまちづくり推進地区

平成 15 年度に、基礎調査の結果を踏まえて主要施設、主要経路の候補を設定しました。整備を進めるに当たっては、具体的な計画づくり、事業推進の枠組みと各地区の特性に応じた整備手法について検討していきます。

